

法人名	社会福祉法人 恵春会	代表者	小林 佳之
事業所名	くまのしょう	管理者	米村 ゆかり

法人・事業者の 特徴	あたたかく、やさしい介護。必要なときに、必要な介護。 みんなが集まる施設づくり。考えて行動できる職員を育てる を目標とし、 個人の思いに寄り添い、利用者さんと職員が和み、自然と笑顔になる環境を目指し介護に取り組んでいます。
---------------	---

出席者	市町村職員	知見を有する者	地域住民・団体	利用者	利用者家族	包括センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
			3			1				4

項目		前回の改善計画	改善に対する取組み	意見	今回の改善計画
A	事業所自己評価の確認	新規利用者には担当職員をつけ、その職員が関わる時間を持つ。利用前にアセスメントシートを確認し、課題をミーティングで共有しておく	ミーティング以外にも課題があれば、職員間で協議。援助で知り得た情報を共有する。		介護職員一人ひとりが意見を持ち、発言する場を作り、話し合う。何をどうしたいか。どうすれば改善するのかと考え、具体策を考える。
B	事業所の しつらえ・環境	感染症対策の継続 予防策を継続して行う	面会制限の期間あり 5類移行後は、制限緩和 職員の対策は継続	インフルエンザ・コロナ感染があった。コロナ感染はクラスターとなった。	面会制限を設定しない 害虫駆除対策をとる プランタに野菜を植える
C	事業所と地域のかかわり	地域行事に職員・利用者と共に参加する 運営推進会議や事業所連絡会議に介護職員も参加し、地域住民との関係を構築する。 週1回の施設周囲のゴミ拾いを再開する	夏祭り・七所宮祭りに参加 運営推進会議には毎回介護職員も参加する 毎週木曜日に施設周囲のゴミ拾いを実施	管理者だけでなく、直接介護職員が意見を述べる場がある	障がい者施設や保育園と交流の場を持つ 地域の相談を受け、関係機関へ繋げる 他施設と事例検討会を開催する インフォーマルサービスの活用
D	地域へ出向いて本人の暮らしを支える仕組み	在宅での生活様式を聞き取り、介護に取り入れる。環境の変化を最小限にする。	家族以外の社会資源からも情報をとる		友人知人からの情報収集を行う 地域行事に本人と一緒に参加する

E	運営推進会議を活かした取組み	職員の疑問や思いをミーティングで協議 地域の意見を聞き、介護に取り入れる仕組みを作る	介護職員が直接、地域住民と会話の機会を持つ 意見交換する		客観的意見を聞き、支援の優先順位をつける。推進委員に施設に行事に参加してもらう
F	事業所の防災 ・災害対策	事業継続計画及び施設の事業継続計画を作成し職員が理解する	事業継続計画を作成し、職員に周知する		地震・水害・台風・火災対策を事業継続計画に取り組み、備蓄品を整備する